

辰巳会開催年月日場所							褒章受賞者名 調 39.11.20		
年月日	開催場所	時間	出席者数	会費	摘要	氏名	褒章種類	受賞年月日	
35.10.7	金 神戸 国際ホテル	A.M 11:00	162	1,000	発会式	浅田 長平	緑 綬	昭和19年2月	
11.2	水 大阪 新大阪グランド	A.M 11:30	92	500		"	藍 綬	34年11月	
12.2	金 神戸 神 仙 閣	A.M. 11:30	91	500	忘年会	永井幸太郎	"	34年12月	
36.1.12	木 大阪 北 京 A.M 11:30	100	500		外島 健吉	"	36年5月		
4.3	月 神戸 オリエンタルホテル	A.M 11:00	130	1,500	東西合併	高畑 誠一	"	36年10月28日	
6.2	金 大阪 北 京 A.M 11:30	76	500		佐々木義彦	"	"		
10.2	月 神戸 神 仙 閣	"	76	500		木村 悌三	"	"	
12.4	月 大阪 北 京	"	109	500	忘年会	勝屋 利秋	"	37年11月7日	
37.1.22	月 神戸 神 仙 閣	"	67	800		町田 叔光	"	37年11月15日	
4.2	月 京都 何 有 荘 A.M 10:00	305	1,500	大会	矢野松三郎	"	"		
7.2	月 大阪 北 京 A.M 11:30	74	800		村上 弘一	黄 綬	"		
9.13	木 神戸 摩耶観光ホテル	P.M 5:00	133	1,300	観月会	岡部 五峯	紺 綬	38年4月22日	
12.4	火 大阪 太 閣 園 A.M 11:00	122	1,000		楠本 直美	藍 綬	38年5月3日		
38.3.14	木 神戸 田宮記念館	A.M 11:30	113	700		安並 正道	"	38年5月	
5.13	月 有馬 有馬グランドホテル	P.M 3:00	128	泊3,000 当2,000 同泊5,000 当4,000	大会	溝口 泰造	"	38年11月2日	
9.18	水 大阪 東 天 閣 A.M 11:00	89	800		村上 弘一	"	39年3月4日		
12.5	木 神戸 三 ツ 輪 P.M 5:00	63	1,500	忘年会	中井 義雄	藍 綬	39年3月18日		
39.2.27	木 神戸 オリエンタルホテル	A.M 11:30	154	1,000	金子翁二祭 子周年自 よね刀要 観月会	山野上重喜	緑 綬 勲二等 瑞宝章	39年10月28日	
39.5.6	水 " "	A.M 10:30	163	1,000		浅田 長平	永井幸太郎	"	
9.21	月 " 舞子ヴィラ	P.M 5:00	111	1,000	観月会	永井幸太郎	黄 綬	"	
11.18	水 大阪 東 天 閣 A.M 11:00	91	700	忘年会	森本 準一	旭 二	北村徳太郎	"	

大杯を受けて
大田 広輔

私は今神戸市で遺族会と老人クラブのお世話をしております関係で、本年が神戸老人クラブ発足十周年にあたり記念大会を催すことになり、去る六月ごろから承らるるの間村余曲折、いよいよ九月五日の老人の日を期し国際会館で開催することに決定、ようやく準備もOKやれやれと冷いビールでもと思って帰宅したときでした。大丸から箱物が届けられ開いたら木箱に墨書で「大杯」と書かれてありましたので、折も折アツと飛び上るほどの喜びがわいて来ました。昔から「大杯」という言葉の前後は嬉ばしい、目出度い、勇しい等々誠に意味深長であります、取出した大杯が実に立派でことに金字で寿と書かれ床の飾りとしても結構なものでしたので、早速冷いビールを入れて顔をつつこんでがぶ飲んだその気持何ともいえませんでした。と同時にふと思いついたことがありました。大正の始め旧正月に大連支店経営の仁発機の整理のため四平街におりました時のこと、元張作霖の腕といわれ

た呉俊昌（作霖とともに暴死した人）が外蒙鄭家屯に駐屯しておられ、まして四平街駅長、満鉄大連埠頭事務所長、鮮銀支店長等招待した時に同行して、当時日本人がいなはずの鄭家屯へ行ったら、全く偶然にも慶応時代の学友で後に満州国興安部長となった満蒙通として第一人者菊竹実蔵君と、さらに奇偶にも大連支店に足を止めていたことのある外務省練習生で、英露支蒙語に通じた宮崎朝日新聞記者（奉天直戦で行方不明となった人）と出逢いしていわゆる牛飲馬食会を開き、洗面器にビール等満たし二、三人で顔をつつこんで牛の如くがぶがぶ飲んだことまたあるまいと思つた行為が浮んで来ました。

感慨無量、今大杯は私の部屋に飾って種々のことを思い出させてくれます。（大杯）という文句を考えられたことには満腔の敬意を払うとともに厚く御礼を申し上げます。

☆ ☆ ☆

祝長寿 寿大杯贈呈者名 39.9.15

氏名	生年月日	氏名	生年月日	氏名	生年月日	氏名	生年月日
西川 悦	明 6.9.7	牧 実	17.2.27	小沢 栄毅	明19.11.7	西沢彦兵衛	21.11.5
杉山金太郎	8.9.19	渡辺 庄作	17.4.7	泉 隆一	19.12.3	石田 了三	21.3.13
柏 静	9.6.11	渡瀬 正磨	17.8.3	上垣兼太郎	20.1.2	甲斐喜八郎	21.4.1
芳川筍之助	11.3.26	仁田 利助	17.6.2	東条 順吉	20.1.30	小野 三郎	21.10.15
松尾 晴見	11.10.26	野田 繁彦	17.8.13	溝口 新平	20.2.1	佐竹 員治	21.7.13
大関 雄只	12.6.29	竹岡 筍三	17.8.29	武藤 定之	20.3.15	大田 広輔	21.3.4
横山 正躬	14.6.6	木村喜之助	18.1.27	三浦 俣	20.3.15	荒木 忠雄	21.3.24
武藤 作次	15.9.20	大久保弥十郎	18.3.10	高畑 誠一	20.3.21	長郷 幸治	21.7.
黒田 要吉	15.12.2	山下伴四郎	18.1.18	浅田 長平	20.4.15	幸松 文太	21.8.18
三木 克巳	15.12.3	柳田 ち丞	18.10.22	永井幸太郎	20.4.4	竹内 章治	21.9.17
三上 戒三	15.12.10	笹記為三郎	18.11.4	佐々木義彦	20.8.8	春日 季彦	21.10.2
竹村 房吉	16.1.2	土居 英成	19.2.13	戸坂 隆吉	20.10.15	川村重千代	21.10.26
土居 内蔵	16.3.28	大宮 庫吉	19.4.1	小田島修三	20.10.23	山地 孝次	21.10.28
高梨 音次	16.5.26	北村徳太郎	19.5.9	西村初太郎	20.11.24	近藤正太郎	21.12.3
吉岡 豊	16.6.23	沢村 亮一	19.7.24	多賀 二夫	20.12.5		
野村 敬	16.7.5	岩橋 浩	19.7.24	森本 準一	21.3.10		
園田 太郎	16.10.28	吉武 嘉一	19.9.7	寺崎栄一郎	21.2.16		



大杯を手に喜びの芳川筍之助氏

須磨の湊川教会堂にて

拝復、秋冷の好時節と相成りました、会員の皆様御健勝に渡らせられ大慶に存じます。さて此度は小生の長寿を御祝福下され見事なるわじま朱ぬり大盃を賜わり誠に有難く拝受致しました。

皆様の御友情の御祈りとともに余生をより楽しく過し得ることを嬉しく存じます。

先は寸緒お礼まで

三十九年九月十一日 拜具 八十六翁 芳川筍之助

大杯に対し泉隆一氏より感謝の御寄附がありました。

☆

内容 随想、詩、俳句、絵、マンガ等としどし編集子迄御寄せ下さい。

用紙 原稿用紙四百字詰四枚程度 締切り 次号(第三号) 昭和四十年三月三十一日

原稿募集

来年のことを申しますと鬼が笑うかも知れませんが、来春喜寿をお迎えになる(明治二十二年生)会員及準会員の方は至急御住所、氏名、生年月日本部まで御報告下さい。早々御祝の御手許に贈呈致し度く